

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/29号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

米国経済指標好調でゴールドは狭いレンジ取引

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



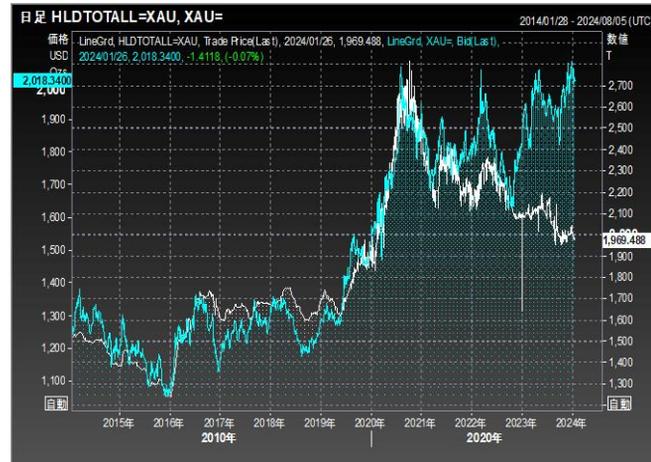
ゴールドは狭いレンジに終始の一週間でした。米経済指標が軒並み米経済の好調を示す数字で、FRBによる金利下げを急ぐ必要がないと連想させる数字でした。そのためゴールドの頭が重く、しかし下値も2000ドルが固い、結果的に狭いレンジになります。FedWatchによる来月の金利予想は据え置きが52.6%と利下げを上回り、年初の利上げ確率70%越えから大きく後退しました。3月に金利下げが行われる可能性はもはや50/50を下回り、それがゴールドの上昇を抑えています。遅れるにしても今年は利下げとなるという見方がゴールドの積極的な売りを妨げています。だから大きく動きようがないという感じです。金曜日に発表されたFRBが重要視する12月のPCE（個人消費支出）は2.6%の上昇で、前月からは横ばい。食品とエネルギーを除いたコアPCEは2.9%の伸びとなり2021年2月以来の低い数字となりました。これはFRBが目標とするインフレ率2%に近づきつつあるということで本来ならば金利引き下げ要因ですが、マーケットはあまり大きな反応を示しませんでした。今週の1月のFOMCでは金利を動かさないというのが大方の予想であるので、波乱はないでしょうが、やはりパウエル議長が記者会見で「利下げ」に関するなんらかの態度を表明するかどうかによって短期的にはゴールドが上昇するのか、下落するのかが決まると思います。一方、もう少し大きな規模でゴールドを考えると地政学リスクと中央銀行のドル離れはやはりゴールドの下値を支えるでしょう。中国人民銀行の昨年ゴールド買いは225トンと発表され、彼等のゴールド準備は2235トンとなり、彼らとその買いを発表し始めた2022年11月からの14ヵ月間に287トンものゴールドを積み上げた計算になります。現在の世界情勢を見る限りこの流れは続くでしょう。米国一強の米ドル基軸通貨の世界から、多極化への流れが続いています。多極化の時代、ゴールドは体制の違いを問わず世界共通の価値としてその意義は重要性が増していくのは明白でしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

さすがに90対1を越える金銀比価は続かず88対1くらいに戻りました。ただその修正もシルバーが上がるというよりもゴールドが下がる形で。絶対的レベルとしてのシルバーの22ドル台はまだまだ割安だと思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド

「プラチナの現状」

900ドルの攻防が続いていましたが、金曜日に上昇、900ドルを超えて一週間が終わりました。このレンジまだまだ続きそうですが、円安もあいまって円建てでは金曜日に一時150円近くの上昇となりました。このまま上昇が続いて欲しいのですが、ドル建てのレンジはまだまだ変わらないでしょう。



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

